

日程第4、町長挨拶、並びに行政報告を行います。

町長（堀見和道君）

皆様、おはようございます。

先ほどは、永田前議長に感謝状の贈呈が行われましたが、6年間にわたり議会運営並びに議会の代表として、対外的な分野で御活躍をされ、佐川町のために大変御活躍されたことを、心よりありがたく感謝申し上げます。

本日は、議会の皆様方にお集まりいただきまして、平成25年12月佐川町議会定例会が開催できますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、本年10月に行われました佐川町長選挙におきまして、佐川町民の負託を受け、10月28日より佐川町長として仕事をさせていただくことになりました。町民の皆様から「しっかりと町の舵取りを頼むよ」と温かい激励と期待の声をいただき、大変身の引き締まる思いで仕事に臨ませていただいております。

まだ45歳と若輩者で人生における経験も浅く、議員の皆様や町の多くの方に御指導、御協力をいただき、佐川町の経営をしっかりと行っていかなければならないと考えております。

私は、佐川町が町として目指す姿を、町の人が生き生きと輝き、みんなでまちづくりを楽しんでいる町、をイメージしております。笑顔があふれ、気持ちのいい挨拶が町中に交わされ、自立できている人が助けを必要としている人を助け、地域に課題があればみんなで知恵を出し合い、解決方法を考え実行できる町。人と人のつながりが、いろいろな場面で感じられる町を、皆さんの力を結集してつくっていきたいと考えております。

そのためにまず、まちのつながりをつくり出すきっかけづくりをする組織としての役場が、生き生きと働ける職場にならなければいけません。町の皆さんに気持ちのいい挨拶ができ、みずから率先して地域でのつながりをつくり出せる、そういう職員になってもらいたい、そう考えております。

まだ1カ月ではありますが、挨拶を徹底するように幹部職員に指示するとともに、私みずから率先して挨拶に取り組んでいます。ま

た、自発的な提案が職員から出てくるような投げかけや、問いかけをして、やりがいを持って仕事に臨むことができる環境を少しずつ、つくっていきたいと取り組んでおります。

役場が、真に町のために働ける組織となるよう、継続して、時間をかけて取り組んでいきます。

具体的な施策として、まず、文教のまち佐川としての人づくりに取り組んでいきます。学校教育においては、これまでの取り組みに加え、佐川町の歴史、文化、産業など、ふるさとのことをより深く学んでいただき、子供たちに、ふるさと佐川町のことをより好きになって、関心をもってもらえるよう、取り組みをしていきたいと考えております。生涯学習としては、来年の3月に完成予定の名教館を活用し、地域の大学とも連携を図るなど、いろいろな分野において学ぶ機会をつくることにチャレンジしていきたいと考えております。

産業振興としましては、第一に、農業を核とした取り組みを進めていきたいと考えております。新規就農者の獲得をはじめ、農業に従事する人を掘り起こすための取り組みを継続していきます。また、ニラや生姜、新高梨、イチゴ、お茶などの佐川町の特産物について、トップセールスをするだけでなく、いろいろな媒体、手段を活用することで町外、県外にPRをしていきたいと考えております。

新しいチャレンジとしては、佐川町の特産物を生かした加工品の製造、販売に関する取り組みを進めていきたいと考えております。総務省が推進しております、地域経済イノベーションサイクルの中で、各自治体に取り組んでいる先進的な事例を研究し、佐川町で雇用を生み出す新しい事業を開発していききたいと考えております。

また、新たな取り組みとしまして、間伐を主とした小規模な林業「自伐林業」の取り組みに関しても進めていきます。今年度は、講師をお迎えして、自伐林業に関する勉強と来年度に向けての調査、計画策定を進めていきます。来年度以降、間伐した木が少しでも流通することができ、雇用の創出、佐川町の所得の向上につなげられるよう取り組んでいきたいと考えております。

福祉の分野につきましては、これまでの取り組みを継続して進めるとともに、地域ごとに、自立と助け合いのバランスが取れたまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。高齢者や障害者などの支援につきましては、地域ごとに抱えている課題を解決する方

法について、それぞれの地域の皆さんと知恵を出し合い、合意形成を図りながら具体的な方法を導き出していきたいと考えております。子育て支援につきましては、公約にも掲げてきました中学3年生までの医療費無料化の早期実現を目指してまいります。

安心、安全なまちづくりに関しては、防災・減災の観点から優先順位をつけて、道路の補修及び整備、橋の改修や耐震補強に取り組んでいきます。また、柳瀬川下流域の河川改修工事がスムーズに進んでいくよう、県や越知町との協議を丁寧に重ねていきたいと考えております。

また、今年度中に役場としての災害時の業務継続計画を策定するよう取り組んでおりますが、この計画を役場内でしっかりと共有し、関係各所との連携をとれるよう体制づくりを進めていきます。この計画とあわせて、各地区の自主防災組織と役場との連携を深め、災害時の初動対応について双方が把握し、連動して対応できる体制をつくっていききたいと考えております。

最後に、総合計画の策定に関する取り組みについて御説明させていただきます。平成28年度から平成37年度までの10カ年を計画期間とする第5次総合計画を多くの町の方々に参加をしていただき、みんなの総合計画としてつくっていききたいと考えております。策定期間としましては、来年度、平成26年度、27年度の2年間で考えております。

総合計画は、計画をつくり上げることで終了するのではなく、つくった計画をもとに実行に移し、計画の進捗状況を確認をし、必要があれば改善し、改善計画をもとにまた実行して、みんなで作った計画に基づくまちづくりを、みんなで実践していくことが大切になります。未来に向けて、夢と希望を持てるまちづくりを推進していくためにも、つくった計画の実行にみずからが進んで参加したくなる総合計画をつくっていくことが大切であると考えております。そのためにも、総合計画策定のプロセスを大切にし、多くの方に関心を持っていただき、参加をしていただく必要があります。

みんなの総合計画の策定手法として、合意形成型の会議の手法とソーシャルデザインとしての地域課題解決方法を取り入れることを考えております。「ソーシャルデザインとは、人間の持つ創造の力で、地域が抱える複雑な課題の解決に挑む活動です。」との定義もごさいます。社会課題の全容を把握し、住民や事業者の声を聞き、

課題を構造的に整理していきます。その上で、取り組む課題を絞り、アイデアを発想し、実現に向けて計画をつくり、仲間と一緒に取り組んでいくこととなります。

佐川町の抱えている課題について、この課題解決方法を取り入れ、丁寧に取り組んでいきたいと考えております。また、行政と町民の協働の方法、合意形成会議の手法に関して勉強をしていただき、ワークショップを重ねる中で、計画を練り上げていきます。町民だけではなく、できれば県内の大学生などにもかかわっていただき、町の外からの新鮮な視点を加えながら、一緒になって佐川町の、みんなの総合計画をつくっていききたいと考えております。

教育、福祉、産業振興など全ての取り組みが、この、みんなの総合計画に基づいて行われていくこととなります。基本は、地域の課題を自分のこととして捉え、解決方法をみんなで必至に考え、合意を図り、実践をしていくこととなります。課題は解決するためにあるものだと考えております。いろいろな分野で、創造的な活動をする組織としての「チーム佐川」が活躍し、楽しみながら課題を解決していける、そういう佐川町をつくるために4年間しっかりと、この佐川町の舵取りをさせていただきます。

議員の皆様には、今後4年間、執行部を厳しく御指導いただき、また御理解、御協力いただき、すばらしい佐川町のまちづくりと一緒に進めていただきますようお願いを申し上げます。

町民の皆様には、この町のいろいろな課題を、自分のこととして考えていただき、まちづくりに積極的に参加をしていただきたいと思いますようお願いを申し上げます。

続きまして、行政報告を行います。今回の報告につきましては、行政の継続性の観点から、9月定例会後の重立ったものについて報告させていただきます。先ほどの議長の諸般の報告と多少重複する部分もありますが、お許し願いたいと思います。

まず初めに、9月20日、高吾北広域町村事務組合第3回定例会が招集され、前町長が出席をいたしました。提出されました議案は、平成24年度の決算の認定、工事請負契約の締結及び一般会計補正予算についての3件であり、いずれも原案どおり決定されております。

一般会計歳入歳出決算につきましては、歳入額13億2,750万8,781円、歳出額12億7,905万9,683円となっており、歳入歳出差

引残額は 4,844 万 9,098 円で認定されております。

工事請負契約につきましては、高吾北衛生センター基幹的施設整備工事を大阪府高槻市の株式会社クリタス西日本支社と 5 億 400 万円で請負契約するものでした。

同日、日高村佐川町学校組合議会が招集され、前町長が出席いたしました。提出されました議案は、平成 24 年度一般会計歳入歳出決算の認定及び一般会計補正予算についての 2 件でありました。

平成 24 年度の決算につきましては、歳入額 3 億 3,836 万 4,840 円、歳出額 3 億 3,315 万 6,365 円となっており、実質収支額 520 万 8,475 円で認定されております。

補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ 534 万 2,000 円を増額し、予算の総額は、1 億 4,074 万 5,000 円となりました。主な補正は、プールの修繕及び A E D、図書室書架の購入等によるものでした。

9 月 19 日、尾崎知事に御臨席を賜り、尾川地区の集落活動センターたいこ岩で、集落活動センター活動開始式典並びに祝賀会が盛大に開催されました。

町としましては、本年度末の完成を目指して集落活動センターたいこ岩の改修を行います。来年度からは、当施設を拠点に尾川地区活性化協議会が中心となり、地域住民の交流や地域の一層の振興が図られるよう、町としても連携しながら支援もしていきたいと考えております。

10 月 26 日から 29 日までの 4 日間、ねんりんピックよさこい高知 2013 が開催され、本町におきましても、10 月 27 日、全国各地から高齢の部 36 チーム、一般の部 14 チームの参加をいただき、ウォークラリー交流大会を実施いたしました。台風 27 号の影響が心配されましたが、当日はすばらしい秋晴れに恵まれ、文教の地・さかわの魅力を県内外に発信することができました。大会の運営に御協力いただきました全ての方々に改めて感謝を申し上げます。

10 月 28 日、町長として着任いたしました。着任早々、職員への訓示として次の 3 つのことを伝えました。仕事をする上での判断は、町のためになることなのか、町民の幸せになることなのかを基準に考えること。気持ちのいい、心のこもった挨拶をすること。町のためになると思う提案を積極的にしてもらうこと。また、役場が一つになり、進むべき方向性を共有して、町のために町民のために一緒

に働きましようかと伝えました。着任後数日間は、知事への挨拶をはじめ、近隣町村、各関係機関への挨拶回りを行いました。

11月3日、高知県功労者表彰式に出席いたしました。今年は、12名の方々が、さまざまな分野で受賞されましたが、佐川町からは、佐川町商工会顧問の柳瀬良輔様が、商工業の発展の功労者として表彰されました。柳瀬氏は、長らく商工会の役員として、特に昭和56年から平成10年までの17年間は、会長として商工業の経営改善や地域振興に御尽力されました。

11月6日から7日にかけて、国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会並びに市町村道整備促進協議会の要望活動が、国土交通省及び地元選出国會議員に対して行われ、参加いたしました。

要望では、当町の実情を訴えるとともに、地域が真に必要とする道路の計画的かつ着実な推進、防災・減災対策や適切な維持管理が行えるよう必要な予算の確保を強く訴えてまいりました。

11月11日、国土交通省の災害査定が実施されました。ことしの9月3日から4日にかけての台風17号によります公共土木施設の被害につきましては、査定の結果、河川2件、金額にいたしまして802万4,000円となりました。

11月19日、東京都の砂防会館別館におきまして、全国治水砂防促進大会が開催され、出席いたしました。会議では、土砂災害の防止、軽減の基本である砂防施設等のハード対策の推進、南海トラフ巨大地震等大規模土砂災害対策の推進など6項目の提言が満場一致で採択され、閉会后、関係各方面へ要望活動を行ってまいりました。

11月20日、東京のNHKホールで全国町村長大会が開催され、出席いたしました。大会には、全国の町村長と都道府県町村会関係者、安倍内閣総理大臣など約1,300名の出席がありました。

議事では、地方分権改革の推進など町村行財政をめぐる諸問題解決に向けた7項目の決議案が提案され、原案どおり決定しました。また、道州制の導入に反対する特別決議案も提出され、満場一致で決議されました。

翌日、11月21日には全国山村振興連盟通常総会及び全国浄化槽推進市町村協議会通常総会が開催され出席してまいりました。

11月24日、職員採用第2次試験を実施しました。採用予定人員は、一般行政職の事務職が4名程度、調理員が1名程度となってお

り、12月下旬には合格発表を行う予定としております。

11月27日、高吾北広域町村事務組合議会第4回定例会が招集され、出席いたしました。提出されました議案は、条例案が1件、補正予算関係の議案が5件、監査委員の選任に関する議案が1件であり、いずれの議案も原案どおり決定されました。

監査委員には、越知町の岡林学氏が選任されました。

11月28日、本年3月に土地賃貸契約を結んでおりました旧鷹ノ巣養豚団地跡地のメガソーラー施設が完成したことに伴い、開所式への御案内を受け出席いたしました。

メガソーラーでは、佐川町において最初に完成をし、発電を開始した施設となります。発電所の敷地面積は20,770平米で、設置しているパネルは6,300枚、発電能力は1,500キロワット、年間発電電力量は、一般家庭の約500戸分に相当すると聞いており、深刻化する環境問題への取り組みとして、小さな一歩かもしれませんが、未来の地球環境保全のための一助となることを期待しております。

続きまして、今回提案いたします議案等について御説明いたします。

議案は、報告が3件、予算案が2件、条例案が6件、その他の議案が5件、諮問が1件となっております。

このうち、一般会計補正予算案につきまして、主な内容を御説明いたします。

まず、補正予算関係でございますが、平成25年度補正予算案は、一般会計において合計1億9,436万7,000円の追加計上をしており、補正後の予算総額は、67億5,581万5,000円となります。

主な補正内容は、高吾北広域消防本部消防救急無線のデジタル化に要する経費、4億7,943万8,000円のうち、佐川町の負担金として1億6,714万6,000円。J Aコスモス永野出張所のニラ小袋包装機2台の入れかえに要する費用として2,073万2,000円。生活保護を受給されている方が更生医療の該当となったための医療費として、1,000万円、などとなっております。

特別会計におきましては、国民健康保険特別会計が3,030万円の増額となっております。

以上をもちまして、行政報告並びに議案につきましての概要説明といたしますが、何とぞ、慎重なる御審議の上、適切なる御決定を賜りますようお願い申し上げます。